

## 第 23 回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要 広島大学「森林と人間」講座として第 23 回山のグラウンドワークを、「龍王山憩いの森」炭焼き広場周辺で開催しました。明け方まで降り続いた雨もやみ広島大学に入学したばかりの 1 年生中心の大学生と中国電力エネルギー総合研究所、西条酒造組合関係者、酒米生産協議会の農家の方々が雑木林の除伐と除伐材の整理を行ないました。今回は、除伐班、除伐材運搬班、チップーシュレッダー班、炭焼き用材づくり班に分かれて、午前と午後で作業を交代しながら、いろいろな作業を経験しました。特に、中越広島大学大学院研究室の留学生や造林業に興味がある学生が参加し、チェーンソーやオノを使った除伐やマキ割りを積極的に体験していました。
2. 日 時 2006 年 4 月 23 日（日）9：30～15：00
3. 場 所 東広島市 龍王山憩いの森 炭焼き広場及び周辺の雑木林
4. 参加者 90 人
5. 作業内容 ①整理作業  
②除伐作業
6. 天候 曇りのち晴れ
7. プログラム 9：00 スタッフ集合  
9：30 受付  
10：00 開会式、オリエンテーション  
10：30 グラウンドワーク午前の部  
12：00 昼食  
13：00 グラウンドワーク午後の部  
14：30 閉会式・集合写真撮影  
15：00 解散
8. 役割り分担  
総括責任者 中越 信和（広島大学大学院 教授）  
前垣 壽男（西条・山と水の環境機構）  
全体指導 池上 大輔（広島県森林環境づくり支援センター）  
作業指導 鶴内 秀樹（広島県森林環境づくり支援センター）  
藤川 信也（元・新ダイワ工業）  
進行責任者 菊池 亜希良（広島大学大学院 助手）  
進行・司会 齋藤 大輔（広島大学大学院生）  
救護 寺田 まゆみ（井野口病院看護師）
9. 実施体制 主催：広島大学、西条・山と水の環境機構  
協力：広島県森林環境づくり支援センター、財団法人東光会、  
吉行生産森林組合、東広島市、井野口病院  
新ダイワ工業、NPO 法人グリーンラインを愛する会



開会式



中越教授のあいさつ



オリエンテーション（手ノコの使い方）



作業①除伐 木を切る小学生



除伐（指導を受けチェーンソーを使う広大学生）



作業②除伐材の運搬





作業③炭焼き用材づくり



マキ割りに挑戦する留学生



作業③の2 炭窯へのまき詰め



作業④除伐材をシュレッダーでチップにする



作業の成果 (ウッドチップ)



全員で手入れした森林をバックに記念撮影

